

Drive@earth



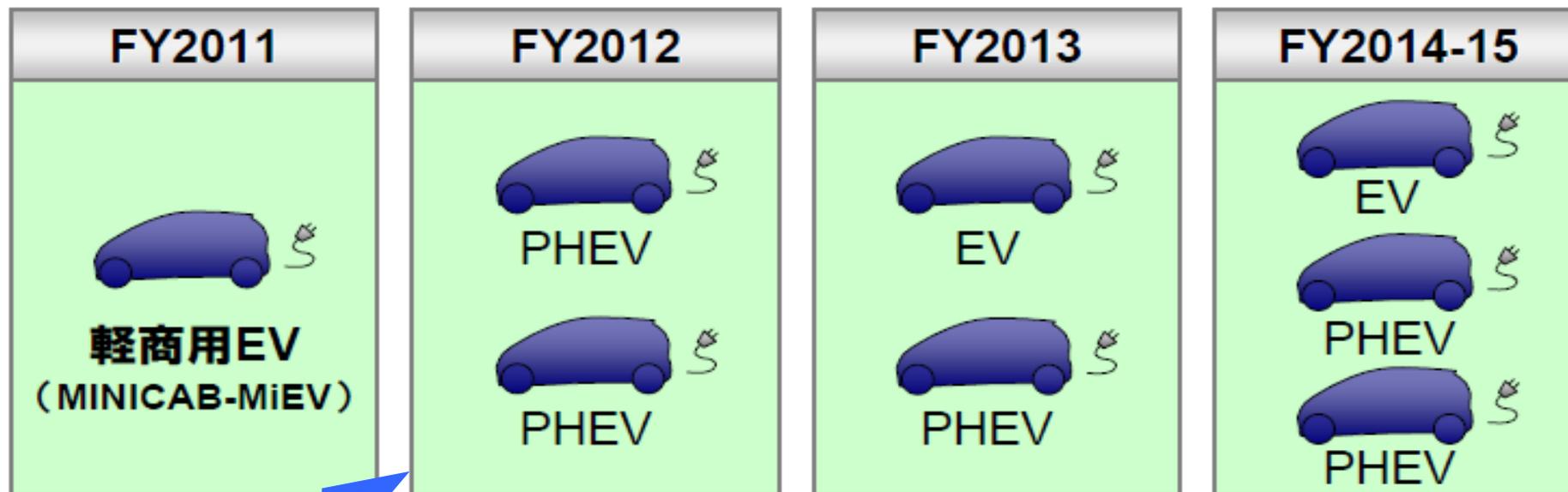
# 軽商用電気自動車「MINICAB-MiEV」のご紹介

2011年12月1日

三菱自動車工業(株)  
EVビジネス本部

# 1. 当社の商品戦略

2015年度までに電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)を計8車種投入



中期経営計画「ジャンプ 2013」(2011.1発表)より



i-MiEV



MINICAB-MiEV



コンセプト PX-MiEV II  
(2011東京モーターショー出展車)

12/8より、軽商用電気自動車「MINICAB-MiEV」を発売開始

## 2. 市場投入に向けた取り組み

### 実証試験

2010年10月ヤマト運輸株式会社様と共同で、実証試験を開始

### 実証試験内容

MINICAB-MiEV試験車2台を集配業務用車に使用し、走行データの収集・分析を通じ、実用性を確認



実証試験開始式の様子

### プレスリリース



ヤマト運輸

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS

平成 22 年 10 月 14 日  
ヤマト運輸 (株)  
三菱自動車工業 (株)

#### 軽商用電気自動車の集配実証走行試験の開始について

ヤマト運輸株式会社 (本社: 東京都中央区・代表取締役社長 木川 真、以下ヤマト運輸) と三菱自動車工業株式会社 (本社: 東京都港区・取締役社長 益子 修、以下三菱自動車) は、三菱自動車が試作した軽商用電気自動車 (以下軽商用 EV) を活用し、共同で集配実証走行試験を開始することをお知らせいたします。

#### 1. 背景

ヤマト運輸は、「車両台数の抑制」「低公害な集配車両の導入」「エコドライブの推進」「走行距離の短縮」、さらに「モーダルシフトの推進」といった取り組みを通じ、宅急便事業のあらゆる局面で環境負荷の削減に努めております。また、約 46,000 台の車両を有しており、環境に配慮した次世代車両を積極的に導入することによって、低炭素社会の実現に貢献したいと考えております (2010 年 3 月末現在の低公害車数 11,538 台、内ハイブリッド車数 4,669 台)。

一方、量産電気自動車 (EV) の先駆である三菱自動車は、昨年 7 月から電気自動車『i-MiEV (アイ・ミーブ)』を市場投入し、本年 4 月からは個人向け販売も開始しています。EV は、走行中の CO2 排出がゼロであるため、「大気汚染」「地球温暖化」「脱石油」のすべてに対応可能な究極のエコカーです。今後、乗用車と比べて 1 台あたりのライフサイクルでの走行距離が長い商用車を EV ラインナップに加えることで、低炭素社会の早期実現を目指します。

このたび、次世代自動車の中でも低炭素社会実現への期待の大きい商用 EV の採用を検討していたヤマト運輸と、商用 EV の開発を進めている三菱自動車が協力し、軽商用 EV 試験車を集配で使用する実証を行う運びとなりました。

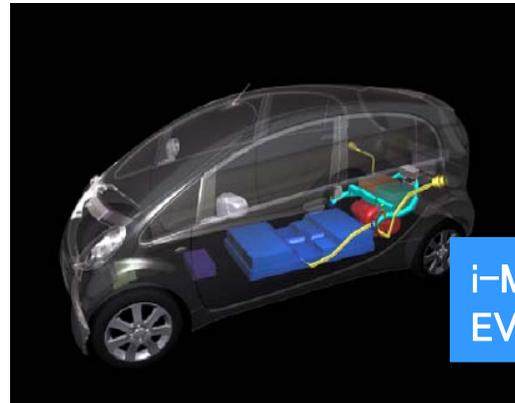


「実証走行試験車」

# 3. 商品特長

## 信頼性

信頼性の高いi-MiEVのEVテクノロジーを活用



i-MiEVのEVテクノロジーを活用

高い信頼性  
i-MiEVで実証した技術を  
MINICAB-MiEVに投入



Photo:CD 16,0kWh ハイルーフ 4シーター エクステリアデカールはメーカーオプション ●ボディカラー：ホワイトソリッド

① 荷室長  
**1,825mm**

② 荷室高  
**1,230mm**  
(標準ルーフは1,125mm)

③ 荷室幅  
**1,370mm**<sup>\*</sup>

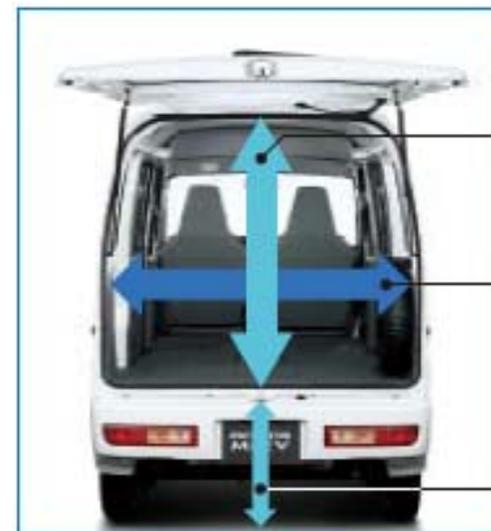
④ 荷室フロア長  
**1,935mm**

■上記の寸法はリヤシート床下収納時(2名乗車時)の数値です。\*スペアタイヤ位置での寸法は1,215mm

リヤシート収納レバーを使い、リヤシートを床下に収納できます。

## 搭載性

- ・ベース車と同等の荷室スペースを確保
- ・最大積載量はベース車と同じ350kg<sup>\*</sup>  
※(2名乗車時)



テールゲート開口高  
**1,145mm**

テールゲート開口幅  
**1,285mm**

荷室床面地上高  
**675mm**

# 4. グレード展開

## グレード展開

i-MiEV同様、2種類の駆動用バッテリーを設定

CD 10.5kWh	2シーター	ハイルーフ
	4シーター	
CD 16.0kWh	2シーター	標準ルーフ／ハイルーフ
	4シーター	



<ハイルーフ>



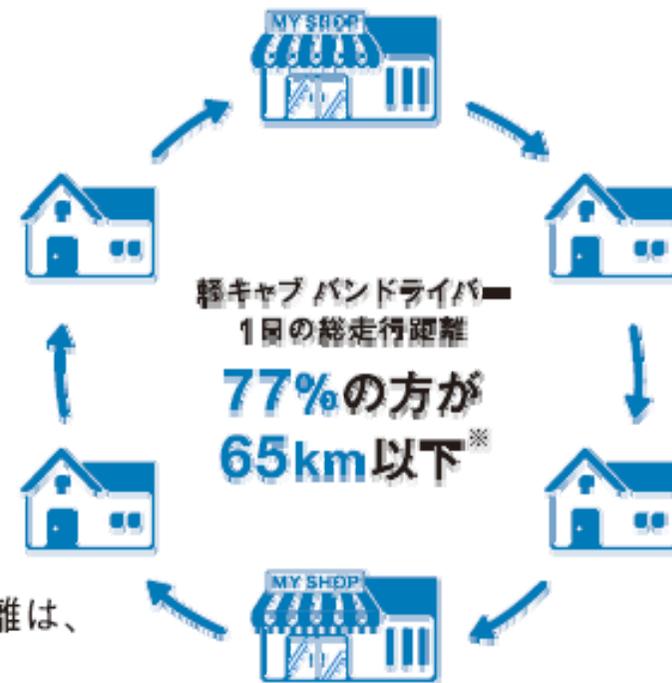
<標準ルーフ>

## 一充電走行距離

(JC08モード・国土交通省審査値)

150km (16.0kWh) / 100km (10.5kWh)

毎日の仕事の利用に十分な航続距離を実現



※全国のドライバーアンケート調査によると、軽キャブバンが1日に走行する平均距離は、77%の方が65km以下でした。(自社調べ)

# 5. 充電仕様

## 充電時間

	CD 10.5kWh	CD 16.0kWh
普通充電 (AC 200V/15A) 	約 <b>4.5</b> 時間(満充電)	約 <b>7</b> 時間(満充電)
急速充電* (急速充電器の出力が50kWの場合) 	約 <b>15</b> 分(80%充電)	約 <b>35</b> 分(80%充電)

※急速充電機能は、メーカーオプション(¥52,500)となります

## 急速充電仕様

準拠規格	CHAdeMO Ver.0.9
最大入力電流	125A (CD 10.5kWh) <u>60A (CD 16.0kWh)</u>



# 6. 新型EV専用ナビゲーションを設定(ディーラーOP)

推定航続距離表示、バッテリー残量案内機能を搭載  
**航続距離への不安を解消!**  
 EV(電気自動車)用AV一体型メモリーナビゲーション

## ルート案内時の走行可能距離がわかる 推定航続距離表示 (注1)



目的地までの距離と推定航続距離を相対的にバーで表示  
 現在のバッテリー残量で、これから走行するルートのごとまで走行可能かを表示し、ドライブをサポートします。また、目的地もしくは立寄地までの推定航続距離をバーで表示することで直感的にわかります。

## 電力消費を抑えたドライブを実現する EV専用「エコ・ルート探索」

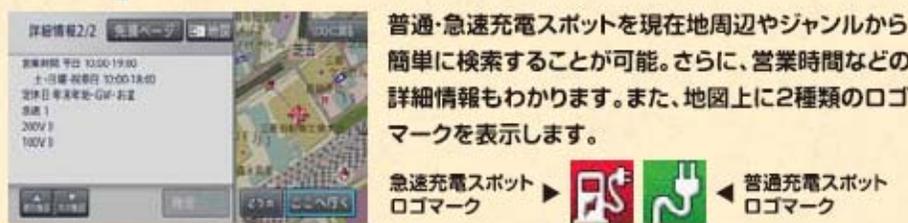


最も電力消費の少ないルートをエコマークで表示します。  
 これから走行するルートで最も電力消費の少ないルートを出発前に確認することができ、効率的なドライブを実現します。

## バッテリー切れを未然に防止 バッテリー残量案内



## 簡単・分かりやすい 充電スポット検索



## ドライブのエコ度が分かる エコステータス



平均電力消費率: 一度の走行での平均電力消費率を表示  
 瞬間電力消費率: 90秒前から現在までの平均電力消費率を表示

# 7. 価格

グレード	車両本体価格 (消費税込み)	補助金 <sup>※2</sup> 交付後 お客様実質負担額
CD 10.5kWh (2シーター) <sup>※1</sup>	¥2,400,000	¥1,730,000 (補助金 上限¥670,000)
CD 16.0kWh (2シーター) <sup>※1</sup>	¥2,950,000	¥2,020,000 (補助金 上限¥930,000)

※1:4シーター仕様の場合、+21,000円    ※2:クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金

MINICAB-MIEVならびにi-MiEVの導入に関しては、下記までお問合せください。  
三菱自動車工業(株) EVビジネス本部 EV国内推進部  
貴志 (reiji.kishi@mitsubishi-motors.com)  
谷田部 (yudai.yatabe@mitsubishi-motors.com)